

西南学院大学&ブックオカ共同主催企画

＜新・世界文学入門＞

沼野教授と読む世界の日本、日本の世界 in 福岡

新しい文学の行方、新しい言葉のかたち。

～「世界は文学でできている」を巡って～

－現代の文学を「世界文学」の視点から“探検”してきた東京大学沼野教授による連続講座「＜新・世界文学入門＞沼野教授と読む世界の日本、日本の世界」。第Ⅰ期は「世界は文学でできている」（2012年1月・光文社刊）にまとめられて好評を博し、現在は翻訳家の野崎歓さん、亀山郁夫さん、作家の綿矢りささん、楊逸さんなどをゲストに迎えて、第Ⅱ期が展開中です。今回はその沼野先生をブックオカに迎え、お話いただきます。

講演：沼野充義 東京大学教授

2012年10月27日(土)14:00～16:00 西南学院大学博物館2階講堂

福岡市早良区西新3丁目13番1号 TEL 092-823-4785

入場料：500円

申込み：ブックオカHP(www.bookuoka.com)の申込フォームから要予約

参考文献：「世界は文学でできている」沼野充義 編著(光文社刊)

日本語とは誰の言葉か？ 翻訳とは何か？

新しい文学とは何か？

文学は現在をどう語っているのか？

3.11は文学にとって文学者にとって

どんな出来事だったのか？



沼野充義(ぬまの みつよし) 1954年、東京生まれ。東京大学人文社会系研究科教授。東京大学教養学部教養学科ロシア分科卒業、ハーヴァード大学大学院に学ぶ。ワルシャワ大学講師を経て、ロシア東欧文学専攻。著書『屋根の上のバイリンガル』、『徹夜の魂亡命文学論』(サントリー学芸賞・芸術・文学部門受賞)、『W文学の世紀へ』、『ユートピア文学論』(読売文学賞受賞)、訳書レム『ソラリス』、プロツキー『私人』、チャーホフ『かもめ』など。ユートピア学、亡命文学、ロシア詩の作法を研究する一方で、文芸評論・翻訳に携わり、また日本文学の海外普及事業にも関わり、新設された現代文芸論研究室で世界文学を一国一言語の枠を超えて見晴らす方法を模索している。2012年1月“世界文学を”5人の文学者と語り合った連続講義「世界は文学でできている」(光文社刊)を発表。現在、同シリーズの2期目の連続対談を開催。

<http://www.jpica.or.jp/event/jpic/2012/09/20162025.html>

問い合わせ：090-6425-6711(ブックオカ実行委)

主催：西南学院大学学内GP「＜ことばの力＞養成講座」、ブックオカ

協力：出版文化産業振興財団(JPIC)、光文文化財団